第14話 お姉様とメイド

お茶きれちゃった
おかわりくれる?
かしこまりました
なんで俺ん家に住みついてんだよ!!

はあ？メイドなんだからこの家に住み込みで働くのは当然でしょ？
働いてねえ！格好だけ!!

っていうか なんで姉ちゃんがメイドになってんだよ！
そりゃあだって…

かわいい弟のお世話とかしたいじゃない？
せんでいい！なんのために家出たと思ってんだ！

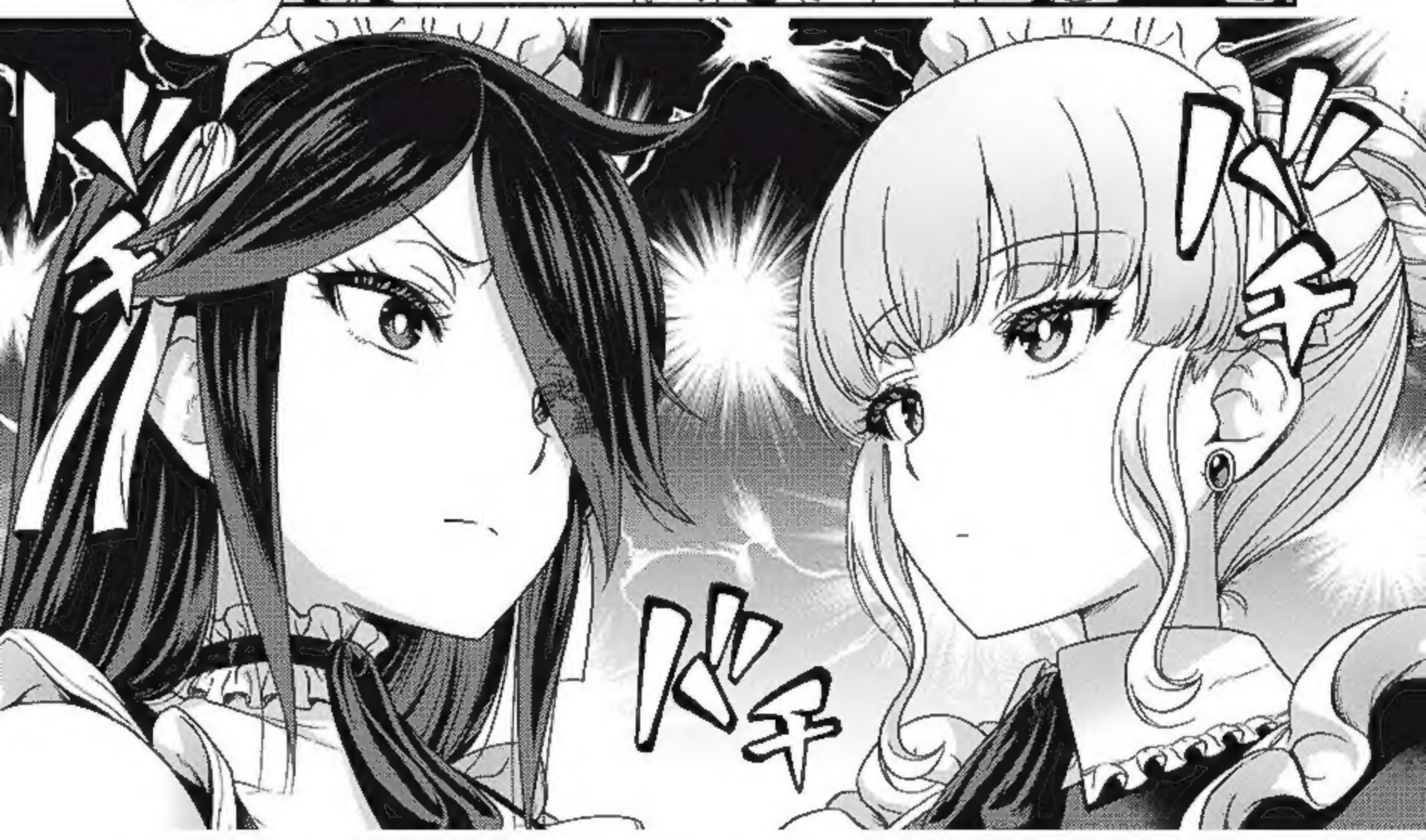
家が厳しいのが嫌になって飛び出したのかと思ってました
……それは母親のほう

あら 母さんだってリクトを愛してのことよ？
そりゃあ…そうかもしれないけど

まあまあ
そんなことより久しぶりに一緒にお風呂入りましょ♥
なんでだよ!

坊ちゃま…その歳でまだお姉様とお風呂に…
子供の頃の話だよ!
でもいま私はリクトのメイドだから
ご主人様の身体を洗うのもメイドの仕事…でしょ?
姉ちゃんは俺のメイドじゃねえ!

そうですよお姉様
坊ちゃまのお風呂は私に任せて今日のところはお引き取りください
おまえに任せてもしねえよ
あらあらあなた確か
クビになったんじゃなかったかしら
さっきまで顎で使っておいてよくそんなこと言えるな

私は お姉様に雇われているわけではないので解雇を命じられても応じられません
それでも私がメイドになったんだからあなたは もう不要でしょうが
お姉様がメイドになろうが私の仕事に変わりはありません
言うじゃない…菖蒲城小路家の長女に向かって…
ちょ…
やめろって…
私はリクト様のメイドですので
バチ
バチ
バチ

だったら仕方がないわね…
どっちがリクトのメイドとしてふさわしいか白黒つけようじゃない…
ちょっと…なにを勝手に…

ドンッ
リクトのメイドの座を懸けて
『リクトとお風呂』対決で勝負よ！

……なに それ

受けて立ちます
え？立つの？ それなにかわかってんの？

かぽーん

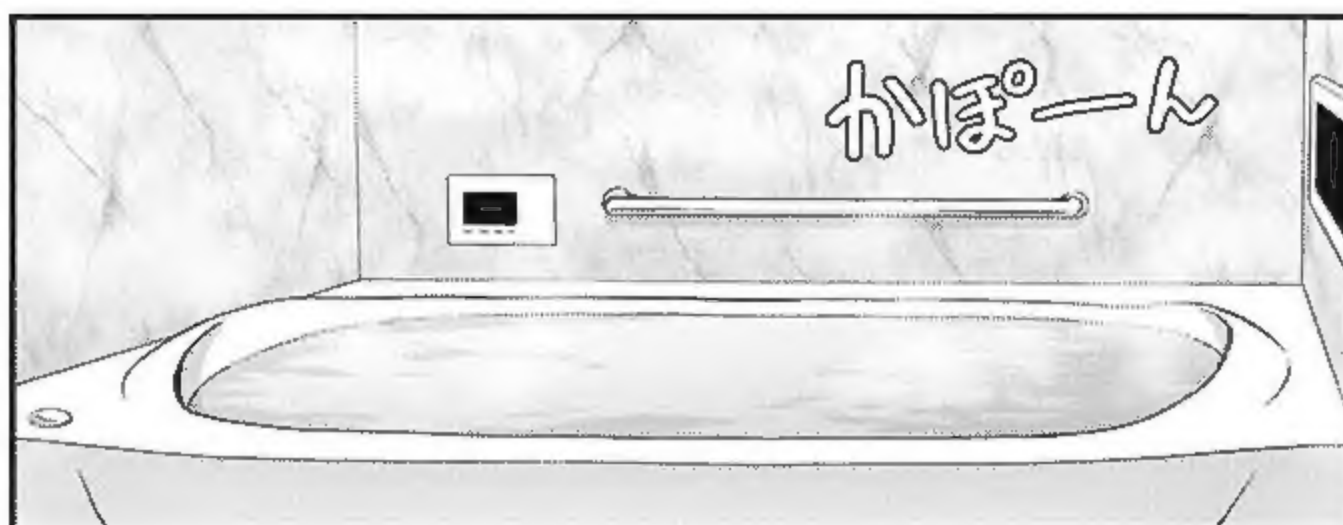
……なんで
こうなった

あらあら
お風呂の中で
水着なんて
着ちゃって
よっぽど
自分の裸に自信が
ないのかしら?
プクク

万一 タオルが外れて
私の裸などを見せては
坊ちゃまに
失礼ではないかと

……それはそう!
なんなんだよ

じゃあ ともあれ
一緒にお風呂
入ろっか♥
待て待て 結局
お風呂対決って
なんなんだよ

……あまり深く
考えとらんかった
なんなんだよ!!

俺は もう出るぞ！
なんで この歳になって まだ姉ちゃんと風呂 入らにゃならんのだ！
あっ ちょっと リクト！
まあまあ せっかく服まで 脱いだのですから
このまま入って いかれればいいじゃ ないですか
なんだ おまえ 急に 姉ちゃんの 肩もって…

……わーったよ
今日だけだぞ
ふふふ
嬉しいくせに♥
なわけあるか！

せっかくですから私がお姉様のお背中もお流ししましょうか
あそれいいわね

じゃあ私がリクトの背中を流すわ

……今日だけですよ
なにから目線だよ

……
本当にこの場に俺はいていいんだろうか
んっ……
ぐりっ
……？
お姉様 だいぶ凝ってらっしゃいますね
……わかる？
ええ もしよろしければほぐしましょうか？
ふふ できるっていうの？
あなたに
……やってみます
いいわ やってみなさい
もし あなたが私のコリをほぐすことができたならクビは撤回してあげる
あなたにできるもんなら

ねええぇえんっ
ごりゅっ ごりゅっ!
ごりゅっ!
ビクッ!
ビクッ!
なっなにこれぇっ
しゅごっしゅごひぃいっ
ごりゅりゅっ!

私は あんたの姉じゃないから

これからは ハルカと呼びなさい

次回、カンナとの"約束"は生きていた!

第15話 生きていた約束

3位!?

…3位って
クラスで3位ですか…？
学年で3位だ

……すごい
坊ちゃまはお勉強できるほうだと思っていましたがこれほどとは…

へへへ
これを機に日々の態度を改めろよ
ふん
ぞりっ

……これで大丈夫なんですよね？
あ？

ほっ
よかったですね
坊ちゃま

ほら
あれですよ
成績が良かったら
私がなんでもひとつ
言うことを聞くっていう

!?
ご褒美に私がひとつ
なんでもして
さしあげますよ

あれ…
本気だった
のか…
もちろんです
お祝いですからね
なんでも
いいですよ

なんでも
っつったって
健全
男子高生の
妄想
なんでもは
まずいだろ…

なにがまずいんです？
いやっ!?
えっと…

ああ　そうだ！なんでもいいいんだよな!?
はい　なんでもよろしいですよ

じゃあ
いい加減「坊ちゃま」って言うのやめろ

……

こんなときにそんな いつでもできるようなのはやめてください
いつ言っても聞かねえからこんなときに言ってるんだよ！

他に何かないんですか
……じゃあ部屋にノックせずに入ってくんな
そんなの当たり前じゃないですか
じゃあ しろ!!
坊ちゃま? もしかして恥ずかしがってらっしゃるのですか?
なっ なにがだよ…
もっと素直に私にしてほしいことをおっしゃってください
なんでもよろしいんですよ?
ずいっ
んなこと言ったって…
さすがになんでもは…
ドキ ドキ
だから特別なんです
ほら…あるでしょう? 例えば…
ごく…

何か食べたいものとか

ないですか？

次回、それがメイドのオムライス…!

第16話 本物のオムライス

坊ちゃまはオムライスがお好きなんですか？
え？
ああ…たまに食べたくなるんだよな
オムライス
なにか思い出でも？
……まあな
……え？なんです？
恋バナですか？
昔の女との思い出の一皿ですか？
ちげーよ！
ミカさまが好きなんだよ…
オムライス…
推し
グラドル
オムライス大好き♡
だから言いたくなかったんだよ!!
……へぇ
ふふ まあお任せください
じゅー…

私がメイドの作る本物のオムライスを食べさせてあげますよ！

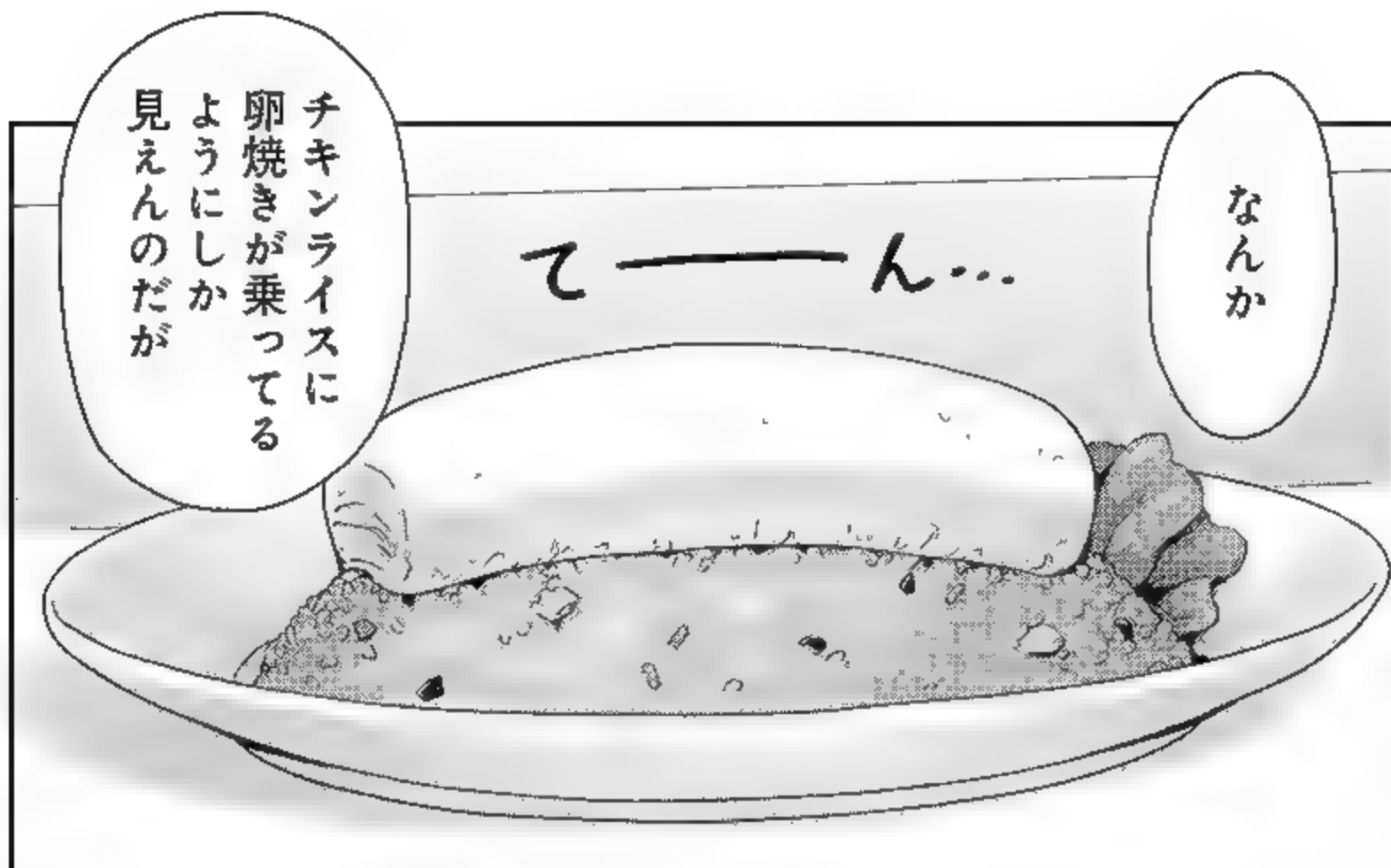
※IHです

なんか
てーーーん…
チキンライスに
卵焼きが乗ってる
ようにしか
見えんのだが

……そう
見えますか
うん

私にも そう
見えます
見えるん
かい

結構
難しいんですね
オムライス
作ったこと
なかったのかよ

にしても こうは
ならんのじゃ
ないか?
私も
なぜこうなったのか
不思議でなりません

……ふふ

はははっ

すいません…作り直します

まてまて
いいよ これで

しかし…

それよりまだ 余ってるんだろ？ チキンライス

はい まだ 残っています

ちゃっ ちゃっ ちゃっ
じゅわ～っ!!

へい
お待ち！
コトッ
ふわとろ〜〜…

……すごい
ほんとに なんでも
できますね
坊ちゃま
なんでもは
できんけど
オムライスは
前に作ったこと
あるかんな
や
ど

そうですか…
では私は
自分の作ったほうを
食べますね

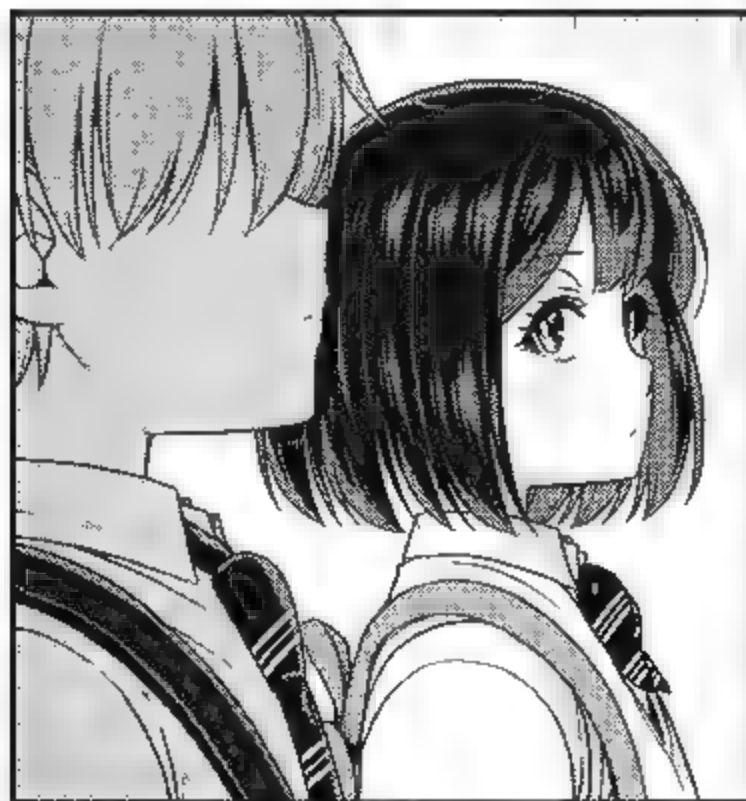
なんでだよ
それは おまえが
俺に作った
オムライスだろ？
え？
いや… でも…

それは
俺が食う
だから おまえは
俺の作ったのを
食べろ
……かしこまり
ました
うしじゃあさっそく
メイドの作った
本物のオムライスを
食ってみっかな
あお待ち
ください
それは まだ
完成では
ありません
え？
最後に
ケチャップで
文字を描いて…
……ほう
ぶぢゅるっ!!
ああっ!?
ぐちゃあ…
あーもう
めちゃくちゃ
だよ…
……

おいしくなあれ♥
もえもえキュンっ♥

次回、新キャラ（女の子）登場です…！

第17話 感謝のゲリラ豪雨

すごい雨だね
いま帰り？
リコ
おまえも傘持ってきてないのか？
あ…うん…
ついてねーな
まあ下校中に降られるよりましか
ははっ
ははは
そうだね
通り雨だと思うけどなー

持ってます…！

実は折りたたみ傘持ってます…!!

持ってるって言っちゃったらふたりで雨宿りできないと思って嘘つきました！

ごめんなさい！

……そうか
そういうのもあるか！

どうする？今からでも傘あることを伝えて一緒に帰る？

でも折りたたみ傘は小さいし…
いやリクトくんもちっちゃいからいけるか…？

ん？
？

ザザザ――――ッ

おまたせ
りっくん
かっ…カンナ!?
……カンナ？

誰？

うちの生徒みたいだけど…先輩かな…

背高いしすごく綺麗…

モデルさんみたい…

……そちらの方は

幼なじみの同級生だよ

な中原リコです

!?

ぴと

っ!?

ドキ

なっ
なんだよ…!

私が部外者だと知れたら追い出されてしまいます

ここはひとつ私はこの学校の生徒ということで

……無理があんだろ

ひそひそ

おまえ
これ 使えよ
えっ？
ドキッ
傘 持って
ないんだろ？
ううん
でも…
遠慮すんな
もう一本
あるからさ
あ…
ほら
帰るぞ
……かしこまり
ました
りっくん もう少し
中に入らないと
濡れてしまいますよ
りっくん
やめろ！
フツーに相合傘
してる……
カンナさんって
いったい
何者なの—!?

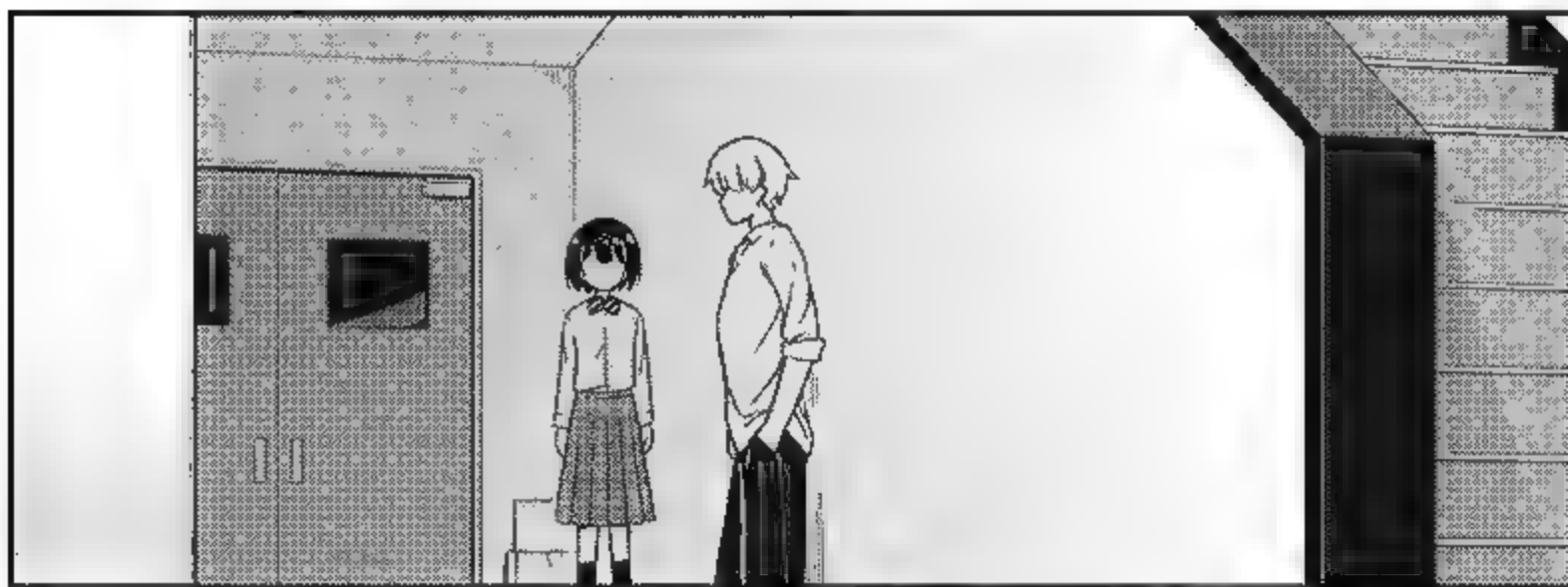
次回、あの男が動く…!

テンマ ちょっと
ん？

なに リクトなら もう帰ったぞ
あんたに 用があるの

……ついに俺に 乗りかえた？
まいったな
んなわけ ないでしょ バカ!!

第18話 疑惑のメイド

テンマ
カンナさんって知ってる？

カンナさん？
カンナさんってリクトのメイドの？

……メイド？
そう聞いてるけど

……リクトくんのメイドさんってこの学校に通ってるの？

なにそれKWSK
くわしく
……
ズイ

前にカンナさんがうちの制服着てリクトくんを迎えにきてたところに居合わせたのよ
ほぅ… でも俺が見た時はちゃんと…
!
いやちょっと変わってたがメイド服を着てたけどな
テンマはどこでカンナさんを見たの？
学校
……私 メイドさんには詳しくないんだけど
普通 メイドさんって学校 来る時もメイド服なの？
普通 メイドは学校に来ない
……なるほど

なにか用があって
訪ねてくるにしても
メイド服では
来ないんじゃね？
じゃあカンナさんが
メイドさんだって
いうのも怪しくない？

……でもなぁ
なに

あんな高身長で
美人なお姉さんが
うちの生徒だったら
オレが知らない
わけないと
思うんだよなぁ

……確かに
テンマが言うと
説得力がある
それほどでも
ほめてない

でも そうなると
うちの生徒でも
なさそうだし
メイドって
いうのも
怪しいし……
いったい
何者なのよ

やっぱり……
女なんじゃないか
リクトの
ばっ！
んなわけないでしょ!!
あんたじゃあるまいし!!
いやだって考えてもみろよ
俺らが中学の頃リクトに女の影なんて一切なかっただろ？
まあいろんな子から言い寄られてはいたけどね
それが高校に入って
リクトが家を出て一人暮らしを始めた途端にカンナさんが現れた
……そんなまさか

入学おめでとう りっくん…♥
一人暮らしも始めて これからは自由に会えるね
うん… そうだね…
あ…ありがとう カンナさん
じゃあ さっそく… お祝いしてあげなくちゃね…♥
あっ
ダメだよ カンナさん… こんな玄関で…っ
あっ♥
もん もん
あー!!
もん

そんな 玄関で――!!??

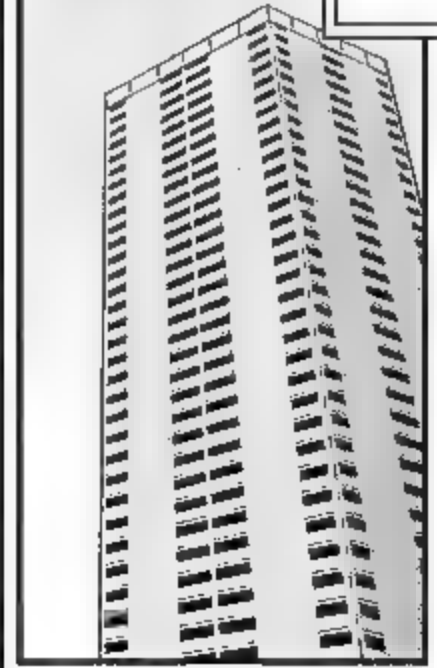
ビりッ

くわっ

リクトくんを助けなきゃ!!
?
?
ここで あれこれ考えても結局推測の域を出ない
ま まぁ落ち着け

ここは ひとつ
アポなしでリクトの家に遊びにいってみようじゃないか
リクトくんの…
お家(うち)へ…!?

次回、お家へGO…!

土曜日

なんだよ急に……

来るなら来るって言ってくれりゃいいのに

第19話 来ちゃった

わかった
リクトくんの家まで行って逃げられないところでお説教するのね！
そうじゃない
リクトん家に行ってカンナさんがメイドとして働いてるか確認すればいいんだよ
もしいたらカンナさんは本当にただのメイドってことで問題は解決だ
なるほど
そしたら俺も気兼ねなくカンナさんにアプローチできる
……それが目的なんじゃ
でもいなかったらどうするのよ
そのときこそ逃げられない状況でリクトを問い詰めればいい
んで なんとか説得してリクトとカンナさんを引き離し
そして俺がカンナさんにアプローチする
それはもういいわ

お茶でいい？
ジュースもあるけど
ああじゃあお茶で
私も
……
……いないなカンナさん
いないわね……
じゃあやっぱり…
なあリクト
ん？
カンナさんは？
直球ー!!

……なんだよ
やっぱり おまえ
カンナが目当てか
いやいや
そういうわけでは…
あるけど
あるのかよ
残念だけどカンナは
今日 休みだぞ
休み？
土日は休みに
したんだよ
他のメイドは？
いねーよ
へへ
当てが外れて
残念だったな
……テンマ
これは…？
筋は
通っている…
だが 実在しない
メイドを隠すための
言い逃れにも聞こえる
リクトほどの名家が
穴のあるメイドの
シフトを組むのも
違和感があるな…

なに ふたりで
こそこそ
話してんだよ

いやー さすが
リクトの部屋は
広いなって
ううん！
すごいね！
はは…
からかう
なって…
俺だって本当は
もっと普通の
狭いとこで
よかったんだ

ってゆーか
テンマはカンナ
目当てとして
なんで
リコまでついて
きてんだ？

わっ 私も
リクトくんの家
見てみたかったの！

……そっか
へへ
ありがとな

……リクトくん ずっと一人暮らし したいって言ってた もんね
よかったね
……んっ
んで どーする…? ゲームでもする?
カンナ目当てで 来たんだったら 無理して家で 遊ばんでも
外に遊びに いっても いいか
まあ 確かに
久々に三人で カラオケ行くのも いいな
その前に私 リクトくんの部屋 見てみた…
いいですね カラオケ
!?

げえっ！カンナ!!

ジャーン

えっ？
……えっ？

おまえ突然来んなって言ってんだろ!?
すいません
ご学友の方々が
思いませんでした

ほら
中原様でしたよね

次回、カンナが夏服に衣替え…！

坊ちゃま 夏服いかがでしたか まだ寒くありませんでした？

ああ もう夏服で大丈夫そうだ

わかりました

では冬服はもうしまってしまいますね

ん

ところで坊ちゃま

第20話 天使なんかじゃない

私もそろそろ夏服に
衣替えしようと
思うのですが
一度 確認お願い
できますか

は？
おまえの
夏服をか？
はい

なんで
わざわざ…
勝手にすれば
いいだろ

…失礼しました

カチャ…

……待て
はい
やっぱり 確認する
おまえだって こと 忘れてた
…かしこまり ました
幕間
坊ちゃま いま よろしい でしょうか
ん

お待たせしました
確認してよかったよ!!
もはやメイドですらねえじゃねえか！なにがどうしてそうなった!?
富裕層の男性はこういう格好がお好きという話を耳にしまして
偏見！そういうのが好きなのは富裕層じゃなくておっさん！
※偏見
……勉強不足でした
しゅん…
もっと勉強して？常識を

では これなら どうでしょう
そっ！……
えぇ…っ？
また微妙なラインの出してきたな…
これは……どうなんだ？
やっぱりアウト……だよな…
いやいや これはセーフだろ

!?
これぐらいの格好して歩いてる女なんていくらでも見かけるぜ
これを「エロいからダメ」なんて言ってたらむしろなんでもエロい目で見るむっつり変態野郎に思われちまうぞ？

そ　そうだよな…
これぐらいなら普通…

んなわけねーだろ！
!?

どこの世界にヘソだしで働くメイドがいんだよ！
おまえが常識を学べ！

そ そうか
言われて
みれば
確かに…
おいおい
常識に囚われ
すぎだろ
そもそも
メイドの格好に
決まりなんてねえ
本人がこの服で
仕事したいってなら
そうさせてやるのが
主人の度量だろうが
そ そう
だよなぁ～
これぐらいなら
『オシャレ』の範疇
だよなぁ～ぅん
?
しっかりしろ!
メイドをこんな格好で
働かせて恥ずかしく
ないのか おまえは!
むしろ誇れ
メイドの自由意思を
尊重できる自分の
器のでかさを!
んんっ…
ま まぁ
それぐらい
なら…
16

おまえ
その格好した
メイドを侍らせた家に
友達 呼べるのか
!?
おまえ… メイドに
そんな格好
させてんのか…
さすがの俺も
ドン引きだわ…
リクトくん
最低…
あー!
もうちょっと
露出下げよっか!
てゆーかもっと
普通なのない!?
……かしこまり
ました
パタン…
あ……
あぶねぇ~……
はぁ…
ちぇー
かわいかった
のにな
それはそう

次回、激辛カンナ…!